

中央会やまぐち

①決算関係書類等作成のポイント

特集

②中小企業のDX・デジタル化推進に関する実態調査の概要

③山口県令和7年度当初予算 中小企業関連予算のポイント

Close Up組合 周南工流シティー協同組合

中央会TOPICS

組合TOPICS

景況動向



4

2025
APR

Vol.804





代表理事
伊賀浩一郎 氏

Close Up 組合

クローズアップ

周南工流シティー協同組合

〒744-0061 下松市葉山二丁目904番地66

TEL 0833-47-0061

FAX 0833-47-2079

代表理事 伊賀 浩一郎

地域社会への貢献を目指した組合活動の実施

組合の概要

当組合は平成8年4月に設立。山口県と下松市が、下松市葉山に当時の高速時代に対応した県東部の工業団地併設物流拠点を作ろうと開発された当団地を、共同で管理運営し、組合員の事業の利便及び福利厚生に役立てるため設立しました。設立当初は組合事務局を下松市役所内に置いていましたが、平成24年に現在の場所に組合会館と組合事務所を新設しました。現在の組合員は34社と大企業を含めた賛助会員21社の計55社で団地内は満杯となっています。



交通安全街頭立哨

組合では、組合団地の維持管理を中心に組合賦課金と組合施設使用料で運営しています。その中でも重点を置いているのが、団地内の交通安全で、通行安全の表示板設置、街路灯の維持管理、そして4季の交通安全運動には組合員企業が交通安全街頭立哨を持ち回りでを行っています。

赤十字への献血協力

令和3年度から継続して、山口県赤十字への献血協力を行っており、昨年10月に行った献血では、組合所

属の19企業から、51名の400mL献血の参加がありました。昨年の夏は猛烈な暑さにより、外出を控える方が多いことから、献血への協力者が減っていました。そこで、少しでも社会貢献になればという思いから今後も年2回実施していくこととしています。



地元住民への団地内見学ツアー

組合では、昨年度から団地周辺の自治会からの要望もあり、団地内にはどのような企業があって、どのような活動を行っているかについて理解してもらうために「団地内見学ツアー」を実施しました。ツアーでは組合員企業2社の工場見学の後、同じく団地構成員の下松市学校給食センターにおいて給食をとりながらの懇談会を実施しました。地元住民との理解と親睦を深めることができ、今後も定期的に行っていく予定です。



組合は決算関係書類等として**事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案（または損失処理案）**を作成することが**義務付けられています。**

これらの決算関係書類等は、**通常総会の終了後2週間以内**に、総会議事録を添えて所管行政庁に提出しなければなりません。

以下に作成のポイント及び提出にあたってのチェックリストを記載しますので、施行規則に従った作成をお願いいたします。

◆決算関係書類等作成のポイント

■ 事業報告書

- 事業報告書は、通常総会において組合の事業年度内における事業活動等を組合員に報告する書類です。この事業報告書に記載しなければならない事項は施行規則で規定されており、この規定に従って作成しなければなりません。
- 事業報告書に記載しなければならない事項は大きく以下の3つです。
 - I 組合の事業活動の概況に関する事項
 - II 組合の運営組織の状況に関する事項
 - III その他組合の状況に関する重要な事項

■ 剰余金処分案（または損失処理案） ※株主資本等変動計算書はNG！

- 組合定款を今一度ご確認ください、定款に定められたとおりに「利益準備金」、「教育情報費用繰越金（法定繰越金）」、「特別積立金」の処理を忘れずに行ってください。
- 剰余金が発生した場合、**毎事業年度の当期純利益金額（前期繰越損失がある場合にはこれを控除した額）の10分の1以上を利益準備金**として積み立て、**20分の1以上を教育情報費用繰越金**として繰り越すことが法律で義務付けられています。（教育情報費用繰越金は、定款で教育情報提供事業を行うことを定めている組合のみ繰り越します。）
 - ※ この積立等は、当期純利益金額が少額であっても行う必要があります。
- また特別積立金を積み立てることを定款で定めている場合には、**当期純利益金額（繰越損失がある場合にはこれを控除した額）**の10分の1以上を積み立てなければなりません。
 - ※ 平成27年の定款参考例改訂に伴い、定款変更することで、特別積立金の積立範囲を「出資総額に達するまで」と定めることも任意にできます。
- 利用分量配当および出資配当は、これらの積立等の処分後に行います。
- 当期末処分剰余金及び次期繰越剰余金がゼロ以下の場合には損失処理案を作成します。それ以外の場合には剰余金処分案を作成します。

◆決算関係書類等提出にあたってのチェックリスト

確認項目	確認事項	○/×
事業報告書	「I 組合の事業活動の概況に関する事項」「II 組合の運営組織の状況に関する事項」「III その他組合の状況に関する重要な事項」を作成しているか。	
財産目録	施行規則に基づき作成しているか。	
貸借対照表	施行規則に基づき作成しているか。	
損益計算書	施行規則に基づき作成しているか。	
剰余金処分案 (または損失 処理案)	利益準備金として、当期純利益の10分の1以上を積み立てているか。(非出資商工組合を除く)	
	教育情報費用繰越金として、当期純利益の20分の1以上を繰り越しているか。(教育情報提供事業を行う組合のみ)	
	定款で定めている場合、特別積立金として、当期純利益の10分の1以上を積み立てているか。(非出資商工組合を除く)	
	利用分量配当・出資配当は上記の積立後に行っているか。	
	損失てん補を行う場合、定款の定めに従って取崩を行っているか。	

様式は本会HPに掲載しておりますので、この様式に倣い、作成をお願いいたします。
詳しい説明を希望される方は、お気軽に担当指導員にお尋ねください。



様式集はこちら
<https://axis.or.jp/dl>

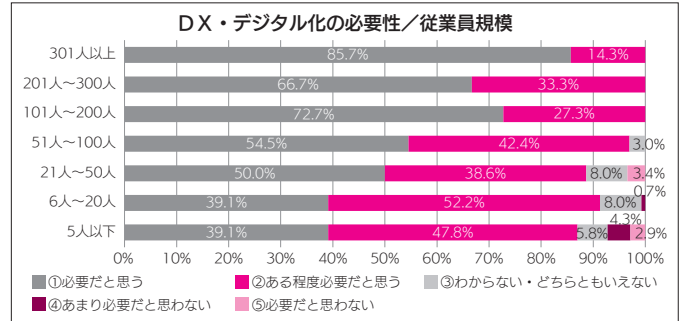
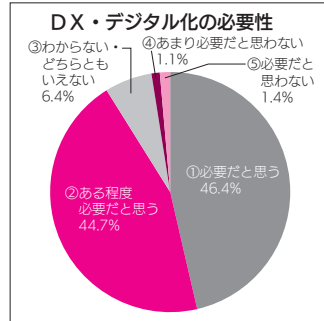
特集2 中小企業のDX・デジタル化推進に関する実態調査の概要

山口県中小企業団体中央会では、会員組合等傘下の中小企業に対し、DX・デジタル化の取組状況に関するアンケート調査を実施しましたので、その結果についてお知らせいたします。
(会報ではその一部を紹介し、詳細は中央会ホームページに掲載予定です。)

1. 調査時点 令和6年12月20日
2. 調査対象 1,000事業所
3. 回答数 360事業所
4. 回答率 36.0%

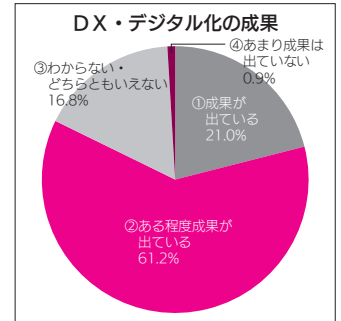
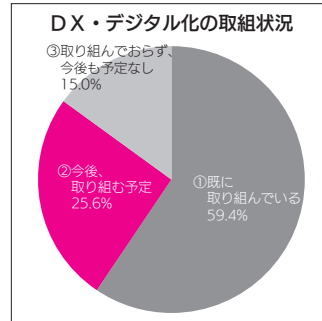
【DX・デジタル化の必要性】

DX・デジタル化は「必要だと思う」(46.4%)及び「ある程度必要だと思う」(44.7%)を合わせ9割以上の事業者が必要性を感じているが、従業員規模が小さい事業所ほど「必要だと思う」割合が低い。



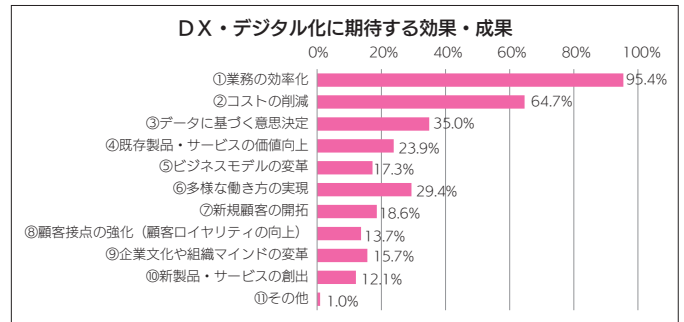
【DX・デジタル化の取組状況】

DX・デジタル化に、「既に取組んでいる」とする事業所(59.4%)は、令和3年度に実施した同様の調査(46.9%)から増加しており、また、取り組んだ結果、「成果が出ている」(21.0%)及び「ある程度成果が出ている」(61.2%)を合わせ、8割以上の事業者が成果を感じている。



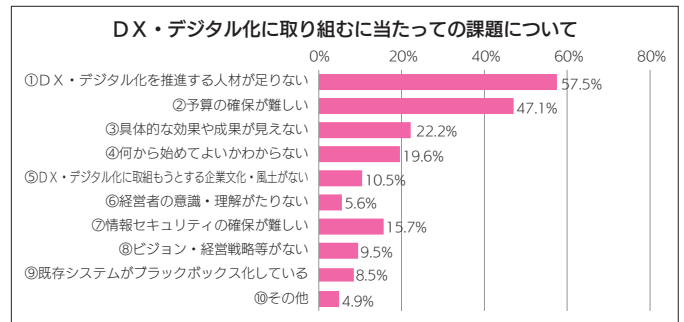
【DX・デジタル化に期待する効果・成果】

期待する効果・成果は、「業務の効率化」(95.4%)が最も多く、「コストの削減」(64.7%)、「データに基づく意思決定」(35.0%)と続く。



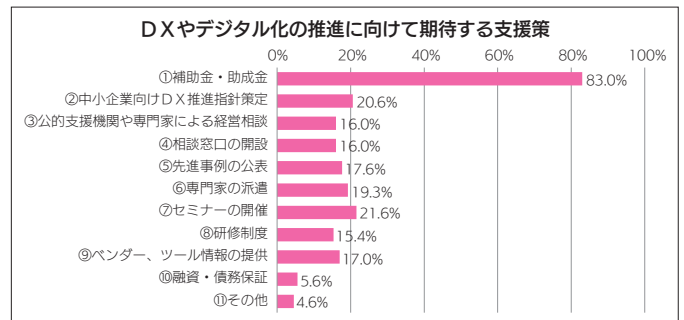
【DX・デジタル化に取り組むに当たっての課題】

課題として、「DX・デジタル化を推進する人材が足りない」(57.5%)及び「予算の確保が難しい」(47.1%)が多く挙げられており、人材と財源の不足が最大の課題となっている。また、小規模な事業所を中心に、「具体的な効果や成果が見えない」(22.2%)や「何から始めてよいかかわからない」(19.6%)も多くなっている。



【DX・デジタル化の推進に向けて期待する支援策】

「補助金・助成金」(83.0%)が最も多く、財政的な支援を強く求めている。次いで「セミナーの開催」(21.6%)、「中小企業向けDX推進指針策定」(20.6%)、「専門家の派遣」(19.3%)が続き、自社が何をすべきかの助言を期待している。



特集3 山口県令和7年度当初予算 中小企業関連予算のポイント

令和7年度山口県当初予算において中小企業関連予算は、「やまぐち産業労働プラン」、「やまぐち産業イノベーション戦略」、「やまぐち産業脱炭素化戦略」などを踏まえ、本県の潜在力や強みを最大限活かし、本県活力の源となる産業力を大きく伸ばす取組を進めることとされています。

その主な事業について、新規・拡充事業を中心に概要を掲載します。

■ 中堅・中小企業、小規模事業者の成長支援

新 やまぐち物流効率化促進事業 [21,604千円]

物流分野における労働力不足に対応し、効率的かつ持続可能な物流体制を構築するとともに、輸送に係るCO₂排出量の削減を図り、カーボンニュートラルを推進するため、県内事業者の物流効率化の取組を支援します。

拡 やまぐち中小企業脱炭素化促進支援事業 [151,343千円]

カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること）を契機とした県内中小企業の持続的経営への転換と成長・発展を実現するため、県内中小企業に対し、脱炭素経営に向けた意識づけとともに、その取組を後押しします。

■ 産業人材の育成・確保

新 若者と県内企業のつながり創出事業 [75,566千円]

大学進学前後の児童・生徒及び学生への情報発信体制の強化により、若者と県内企業のつながりを創出するとともに、若者や企業への支援により、大学卒業後の県内企業への就職を促進します。

新 外国人材確保定着強化事業 [58,871千円]

人材の送り出し側であるベトナム及びインドネシアとの関係を強化するとともに、産官学からなる協議会を創設し、人手不足対策の一助となる外国人材の確保と定着に取り組む県内企業等を支援します。

▽外国人材の確保と定着に新たにに取り組む県内中小企業等への経費補助によるモデル企業の創出 等
[補助率] 1/2 [補助上限] 300千円（一部150千円）

拡 若者との共創による県内企業魅力向上事業 [84,700千円]

若者の視点を取り入れた企業の魅力向上に向けた取組やイベントの企画・運営、奨学金返還支援制度創設奨励金の支給により、県内企業の魅力向上を支援します。

▽奨学金返還支援制度を新たに創設した企業に対し、奨励金を支給

[対象] 奨学金返還支援制度を創設した 県内中小企業等 [支給額] 60万円/社

拡 若者県内定着促進事業 [37,353千円]

就業体験参加学生への交通費・宿泊費の助成等による県内企業での就業体験の推進、若者と企業の出会いの場の創出や企業の魅力情報等の効果的な発信により、若者の県内企業への就職・定着を促進します。

拡 県外人材県内就職促進事業 [37,213千円]

県外に在住している学生から一般求職者までの各層に対して、県内へのUJIターン就職を総合的に支援します。

移住就業支援金の対象地域に広島県・福岡県を追加するとともに、地方就職支援金について、採用面接時の交通費に加えて就職時の引越し費用を支援

■ 働き方改革の推進

新 やまぐち女性の就業応援事業 [32,152千円]

未就業の女性の多様なニーズに応じた就業機会の創出やお試し就業の実施、企業に対して働きやすい職場環境整備等への支援（女性活躍促進施設整備補助金）を行い、女性の希望に応じた就業を促進します。

未来につなぐやまぐち共育て応援事業 [177,425千円]

育児休業の取得促進や共育てしやすい職場環境づくりに取り組む企業等を支援するとともに、共育てを支えるサービスの創出を支援し、男女ともに仕事と育児・家事の両立可能な社会の実現に取り組みます。

■ 物価高対策

拡 賃金見直しによる人材確保・定着支援事業 [195,917千円]

物価高騰下における人材確保・定着の実現のため、賃金引上げ及び若い世代が安心して働ける環境づくりを行う中小企業等を支援します。

▽初任給等引上げ応援奨励金

初任給や若年層の常勤職員の賃金引上げを実施した中小企業等に奨励金を支給（支給要件あり）

[1人あたり支給額] 10万円 [1社あたり上限額] 100万円

▽新働きやすい職場環境づくりのためのマネジメント支援

計画的な賃上げや働きやすい職場環境づくりを行うため、行動計画の策定を主眼として、企業からの要請に基づき、社会保険労務士等のアドバイザーを派遣する支援事業を実施

詳しくは、山口県HP (<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/82/203686.html>)
をご覧ください。



山口県HP

連合山口から要請書を受領

山口県中小企業団体中央会

3月3日(月)、連合山口から本会及び山口県経営者協会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会に対し、「2025春の要請行動」として、要請書の提出がありました。本会からは坂本専務理事が出席し、連合山口の伊藤会長から、要請書を受領しました。

要請の内容は「『底上げ』『底冷え』『格差是正』の取り組み強化と『賃金水準の追求』」、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正配分と労務費の価格転嫁」、「『人材の確保・定着』と『人材育成』に向けた職場の基盤整備」、「健全な企業経営と良好な労使関係の構築」「労働関係法の周知徹底」を柱とするものです。

これらの要請に対し、経済4団体からは、県内中小企業は、深刻な人手不足と原材料価格や燃料費の上昇等に価格転嫁が追い付かない中、収益の悪化が続き厳しい経営状況にあるが、問題意識は一致する部分も多く、真摯に議論を重ねていきたい等と回答しました。

(総務企画部 浦川)



令和6年度組合事務局代表者会議を開催

山口県中小企業団体中央会

2月27日(木)、山口市「防長苑」にて令和6年度組合事務局代表者会議を開催しました。はじめに、中国経済産業局中小企業課課長補佐の山根保子氏から「今後の中小企業政策の方向性について」ご講話いただき、その後、令和6年度モデル組合認定組合の下関唐戸魚市場仲卸協同組合・湯野温泉事業協同組合・山口県鉄構工業組合の3組合に事例発表をしていただきました。

また、令和7年度における全国中央会及び山口県中央会の取組、国、山口県等の支援事業について、本会より情報提供を行いました。本会としては、中央会事務局と組合事務局のつながりを深め、組合運営の円滑化と活性化が図られるよう、今後ともこのような取組を強めていきたいと考えていますので、組合・組合員企業の皆様の積極的なご参加・ご協力をお願いします。

(総務企画部 後)



中国経済産業局 中小企業課
課長補佐 山根保子氏



令和6年度決算・税務講習会を開催

山口県中小企業団体中央会

3月3日(月)、山口市「小郡ふれあいセンター」にて、組合役員や事務局担当者向けに、「令和6年度決算・税務講習会」を開催しました。講師には、税理士法人いそべ共同代表の小平敏彦税理士をお招きし、組合決算及び税務の基本、年度末会計のポイント、税制改正等について講習を行いました。当日は、20名以上の方に受講いただき、「組合会計に特化した講習会で非常に参考になった」「改定も含めて説明が丁寧であってよかった」といった声がありました。

(総務企画部 藤井)



DX・デジタル化推進セミナーを開催

山口県中小企業団体中央会

3月10日(月)、山口市「KDDI維新ホール」にて、『このままでは生き残れない！中小企業が今すぐ始めるべきDX・デジタル化の第一歩』と題し、DX・デジタル化推進セミナーを開催しました。

はじめに株式会社SEAFOLKS代表取締役の三宅裕介氏の講演があり、前半はDXの必要性やAI技術の現状及び取組事例について、後半ではAIを活用したプレゼンテーション資料の作成を実践し、時間短縮できることを実感してもらいました。

続いて、県内でDX・デジタル化の取組を支援している、やまぐちDX推進拠点Y-BASE、公益財団法人やまぐち産業振興財団、ポリテクセンター山口から、それぞれの支援内容についてご紹介頂きました。

受講者からは、「プレゼン資料作成に早速AIを活用してみたい」、「具体的なAI等導入に対する支援施策が理解できた」といった声がありました。(連携支援部 田中)



中小企業BCP策定支援事業セミナーを開催

山口県中小企業団体中央会

3月12日(水)、山口市「KDDI維新ホール」にて、『中小企業のBCP対策のススメ～災害、リスクに強い・負けない企業づくりとは！～』と題し、中小企業のBCP策定事例を交えたセミナーを、また3月18日(火)には山口市「セントコア山口」にて、『企業を守る情報セキュリティの最前線～近年の被害や生成AIの脅威～』と題し、IT-BCPに関するセミナーをそれぞれ開催しました。

今後予測されている南海トラフ地震等の自然災害に備え、中小企業・小規模事業者が事業を継続していくためには、BCPを策定し被害を最小限にとどめ、より早い復旧・事業再開ができるように準備をしていくことが大切です。また、事業活動にITシステムが不可欠となっており、サイバー攻撃による被害も発生していることから、自然



災害や感染症対策のみならず、サイバーセキュリティの強化も事業継続には不可欠となっています。

本セミナーでは、こうしたリスクへの対応やBCP策定の必要性を学んでいただきました。(連携支援部 岡村)

令和6年度やまぐち中小企業脱炭素化促進支援事業報告会を開催

山口県中小企業団体中央会

3月19日(水)、周南市「ホテルサンルート徳山」にて、やまぐち中小企業脱炭素化促進支援事業報告会を開催し、山口県並びに委託及び支援先事業者に参加いただきました。

山口県産業労働部産業脱炭素化推進室の上野主任から、山口県の今後の中小企業者への脱炭素経営取組支援について、また、ワイエムコンサルティング株式会社の原田課長から支援先事業者の取組・成果などについて報告がありました。その後支援先事業者との意見交換を行い、脱炭素経営の行動目標を具体化するとともに、事業者からは、事業活動を拡大しつつも脱炭素につなげるためのスタンスが明確になった等取組に意欲的な意見をいただきました。

山口県並びに中央会では今後とも、中小企業の脱炭素化の取組を支援してまいります。

(連携支援部 前田)



組合創立70周年を祝う

山口県農業機械商工業協同組合

このたび創立70周年を迎え、2月25日(火)、山口市小郡「山口グランドホテル」にて、記念式典並びに祝賀会が開催されました。

当組合は、昭和30年4月に農業機械の普及と安定供給に向けて組合を設立し、共同購買事業や農業機械整備技能の向上に取り組んできました。

当日は多数のご来賓に出席いただき、記念式典では、70周年記念表彰として、購買事業協力優秀企業・組合員や永年勤続社員に対して感謝状や表彰状の授与があり、その後の祝賀会は、中央会 坂本専務理事の祝杯で始まり、参加者同士の交流を深めました。(連携支援部 岡村)



賃金未払トラブルを防ぐ労務管理研修を開催

山口県建設業協同組合連合会

2月19日(水)、「山口県建設業会館会議室」にて、山口県建設業協同組合連合会事務局長会議を開催しました。特定社会保険労務士の飯田晃啓氏を講師にお招きし、「建設業における労働時間管理のポイントと労基法改正」



について研修を行いました。

建設業では天候や受注状況により業務の繁忙差があり、変形労働時間制を採用したいところですが、運用の不備により割増賃金が必要となり、賃金未払が発生している事例があります。事業者にとっては資金繰り等への影響が大きく、未払賃金が発生しないよう労基法への理解や就業規則の整備、適切な運用について学びました。(連携支援部 前田)

女性活躍セミナーを開催

山口県管工事工業協同組合

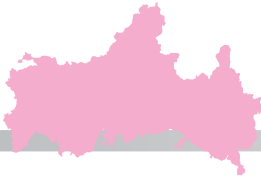
2月25日(火)、山口市「防長苑」にて、女性活躍セミナーを開催しました。講師には、ヒューマンリソース代表の西村公孝氏をお招きし、「気づきの人間学～大切なものは目に見えない～」をテーマにご講演いただきました。

注意と意識とエネルギーを向けるものは、良い悪い関係なく現実化しやすく、自分の思考の癖を直していくことで望ましい結果につながっていくこと等を学びました。

セミナー終了後には交流会を開催し、講師と参加者同士の親睦を深める有意義な時間となりました。

(総務企画部 藤井)





月次景況調査結果

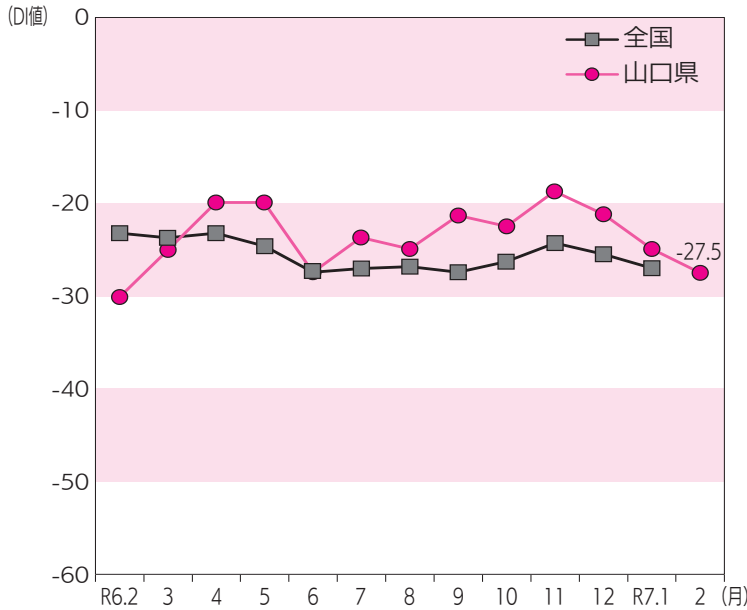
令和7年2月期

2月は、寒波や大雪の影響で人の動きが鈍り売上が減少した業種が多く、また、売上が増加した業種であっても、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費の上昇に対し、価格転嫁が追い付かず収益の改善につながっていないことから、全体の景況感は低下した。

さらに、深刻な人手不足により受注・販売機会の喪失が生じ、収益力の足かせとなっており、人材確保が困難な状況の中で、今後の事業運営を懸念する報告が多く寄せられている。

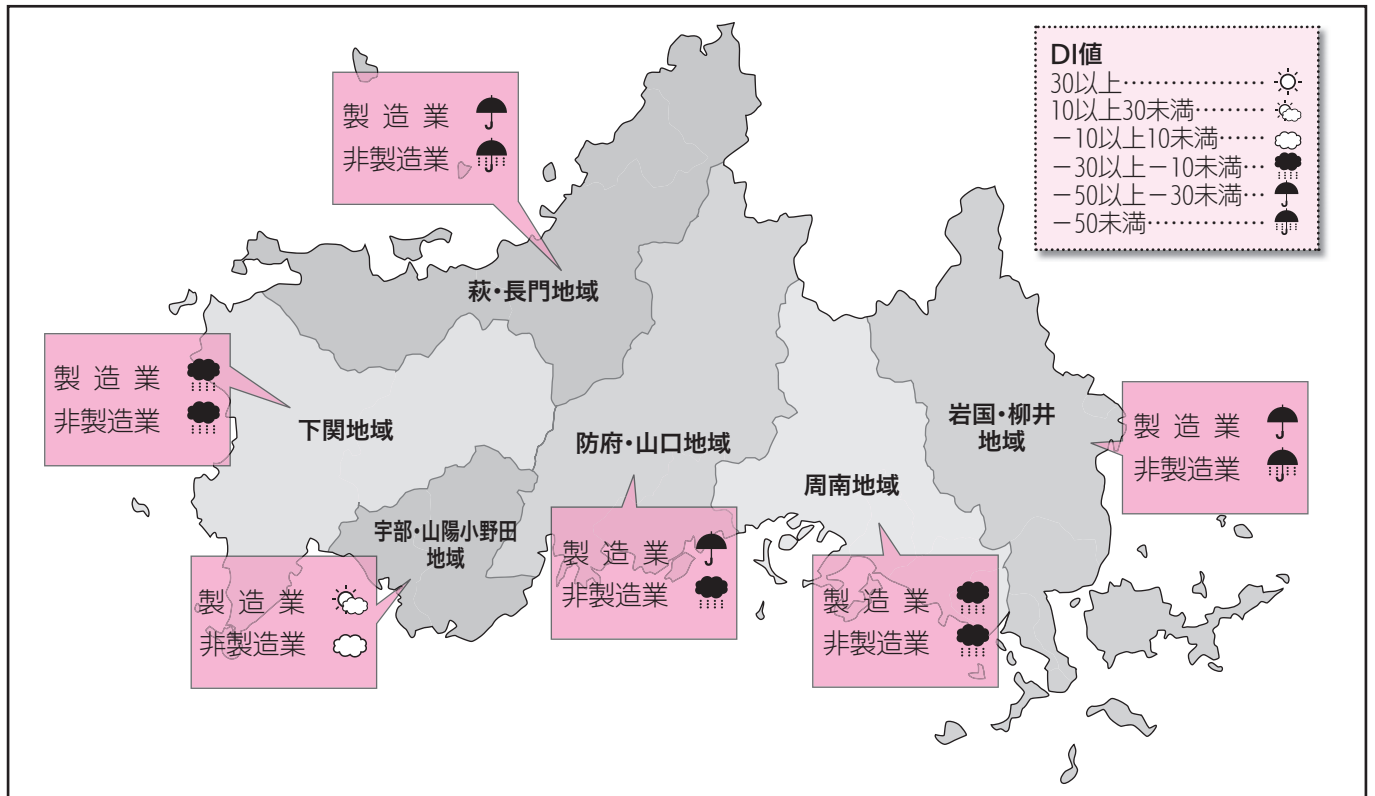
※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合

業界の景況DI値の推移 - 全国平均との比較 -



業種別の景況

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	☔	↘
	繊維工業	☀️	→
	木材・木製品	☔	→
	印刷	☔	→
	窯業・土石製品	☔	→
	一般機器	☁️	→
非製造業	輸送機器	☔	→
	卸売業	☔	↗
	小売業	☔	→
	商店街	☔	→
	サービス業	☁️	↘
	建設業	☔	→
	運輸業	☔	→
その他	☔	→	



地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<https://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寒波による雪の影響で菓子の動きが鈍化。バレンタインは前年に続き低調であった。特にカカオ製品の代表であるチョコレートが原価を押し上げている。(パン・菓子製造業) ○ 水産加工原魚の水揚げ減少。原料価格、資材価格、電気料金や人件費の高騰が続く。漁業者の廃業、後継者不足が深刻。人口の減少が影響している。(水産食料品製造業 長門市) ○ 原材料や水道光熱費の高騰、人件費の上昇に商品の値上げが追いつかない。食材や土産等取扱いの企業は観光客が増えないと売上増加にならない。(水産食料品製造業 下関市) ○ 寒い日が続いた上に、野菜の入荷が少なく、売上が伸び悩んだ。(食料品製造業)
	繊維工業	☀	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生産能力に合った受注をしている。海外輸出分は好調の様様。(外衣・シャツ製造業) ○ 年度末と原材料高騰の前倒し注文で繁忙だが人材不足で対応できない。(帆布製品製造業)
	木材・木製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組合員の平均売上額は、令和6年2月と比べ20%の減少。
	印刷	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料の高騰は依然続いており、市場規模の縮小に加えて、デジタル化によるペーパーレス社会の進行が印刷関連受注総額の減少を招いて、非常に厳しい経営が続いている。
	窯業・土石製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和7年4月より、10%の商品値上げを実施予定。(コンクリート製品製造業) ○ 物価高騰を正面から受け、資金繰りに大苦戦した。(陶磁器製品製造業)
製 造 業	一般機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取引先のエネルギー転換、CO₂削減装置等リニューアルが本稼働している。(周南市) ○ 受注量は多く、値上げもでき、この先の見通しも良いが、日本人外国人を問わず適性のある応募者が少なく、人手不足で、仕事量が消化できない状況が続いている。(防府市) ○ 人材不足が事業運営に支障をきたし、外国人人材への切り替えが進んでいる。(宇部市) ○ 厳しい状況に変わりないが、一部組合員で受注が増加し、回復の傾向もある。(宇部市)
	輸送機器	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両関係は3月までの受注量はあるが、4月から大幅な受注減となり、本格的な稼働は2026年度以降の見通し。人件費、原材料費・電気料等の高騰で収益悪化が続く。半導体製造装置の部品製造業は、当初予測より大幅に受注量が減少し低位に推移している。
	卸売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水揚げ数量は前年を大幅に上回り、金額も前年を上回ったが、各種価格高騰で収益が好転しない。業界全体の景況は悪化していると思われる。(生鮮・魚介卸売業) ○ 物価高騰で販売価格が上がったが、依然として収益が好転しない。賃金アップを検討したいが、現状良い策は見つからない。(各種商品卸売業)
非 製 造 業	小売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積雪等で外出の機会が減少したと思われるが、売上は前年に比べ微増。消費の選択眼が厳しくなり、高価格と低価格の商品を使い分ける生活者が増加の様様。(化粧品小売業) ○ 売上は前年同月比40.9%減少し、壊滅的な状況。営業日の1日減少と、直近の寒波で当施設の隣にある公園の河津桜が開花しなかったためと思われる。(各種商品小売業 萩市) ○ 供給高は前年比108.1%、来店者数99.7%。引き続き青果の入荷が不安定。お米の売上は前年比210.5%。安いお米の注文が出来なくなった。(各種商品小売業 下関市)
	商店街	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寒波の影響で消費活動がやや萎縮したが、大きな落ち込みではない。新店舗の開業が相次ぐ中、古参店舗の廃業・撤退も目立ち、新旧の入れ替わりが明確となっている。(岩国市) ○ 青果業に関して入荷量が増加せず品物が不足し、値段が下がらない。(山口市) ○ 2月中頃から徐々に来客数が戻った。3月の市長選挙での来客増加に期待する。(萩市) ○ 大雪の影響で売上が激減。週半分は人通りが激減しており、対策が必要な状況。(下関市)
	サービス業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2月初旬は例年通りの閑散期。新型コロナウイルス感染症の脅威が去り、中旬以降は卒業式の身だしなみを整えに来店が増加し、売上アップの店舗が増加した様様。(美容業) ○ 厳しい寒さと物価高騰により、自粛傾向にある。(理容業) ○ 新車新規登録台数、登録車、軽自動車ともに前年同月比でプラスとなった。(自動車整備業) ○ 原材料や水道光熱費の高止まりが収益を圧迫し、厳しい状況が続いている。(普通洗濯業) ○ 積雪等により売上は28%の減少。原油高の影響で、厳しい資金繰りとなった。(旅館業)
	建設業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左官工事の従事者が減少した中で、技能者が余る時期が発生している。(左官工事業) ○ 官公需が2月末納期で組合員皆忙しかった。民間工事は人手不足もあり、年度を跨ぐ可能性がある。道路陥没事故の報道を受けて、水道の調査が実施されている。(管工事業) ○ 小規模工事や現場加工物件で繁忙な組合員がある一方、仕事量が極めて薄かった組合員もあり仕事量に差が生じている。厳しい状況が続く見込み。(鉄骨・鉄筋工事業)
業	運輸業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 荷動きが悪く売上も伸びない。苦しい状況が続く。(一般貨物自動車運送業 下松市) ○ 荷動きに目立った増減はない。倉庫保管案件が減少傾向。雇用人員に関して、入退社が多くなかなか安定しない。(一般貨物自動車運送業 宇部市) ○ 2/1~20分タクシーチケット取扱金額(税込み)は+1.9%。収入が増加しない一方で、運営経費が増加し続け、事業者の多くが赤字経営である。(一般乗用旅客自動車運送業)
	その他	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料・エネルギー価格の高騰や人件費の上昇を転嫁しきれず、収益が改善していない。人手不足で介護利用者の受け入れが困難となり、対応に苦慮している。(介護事業)

中小企業組合検定試験 祝 合格おめでとうございます

12月1日(日)に実施された中小企業組合検定試験の合格者が3月3日(月)に発表され、山口県からは4名の方が合格されました。

中小企業組合検定試験合格者

和田 宏志さん（新下関卸団地協同組合） 浅野 早苗さん（湯本温泉旅館協同組合）
奥田 薫さん（下関問屋センター協同組合） その他1名

中小企業組合検定試験とは？

中小企業組合検定試験には、組合の業務遂行に必要な「会計」「制度」「運営」の3つの科目があり、すべての科目に合格し、3年以上の実務経験を有する者に対し“中小企業組合士”の称号を与えられます。この中小企業組合士は組合運営に関するエキスパートであり、組合に携わる全ての方に取得して頂きたい資格です。

本会では、試験対策のための講習会や受験料等にかかる助成制度を設けています。
ご興味のお有りの方はお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 山口県中小企業団体中央会（担当：藤井・後） ☎ 083-922-2606

企業間の 人材マッチング を支援しています

- ・ 企業を退職される方を、人材を募集している企業様へご紹介します
- ・ 在籍型出向を希望する企業様（受入側、送出側） ご相談ください

\\ きっとみつかる いい人、いい仕事 //

退職予定者のいる企業
出向に出したい企業

人員を確保したい企業
(中途採用、出向受入)

再就職・出向の実績
約26万人の公的機関

無料で 全国ネットで



←キャラクター
と、
愛称⇒
が決まりました

job sanko
ジョブ産雇



ホームページもご覧ください

公益財団法人 産業雇用安定センター（ジョブ産雇）山口事務所

〒754-0014 山口市小郡高砂町1番8号MY小郡ビル4階

TEL (083)973-8071 FAX (083)974-5135 お気軽にお電話ください！

お知らせ 国家試験 令和7年度(前期)

技能検定試験 技能五輪山口県予選大会

働く人々の技能を証明する国家検定試験です。
高度な技能を国や県が公に認めたことが証明されます。

お問い合わせ先 山口県職業能力開発協会

山口市旭通り二丁目9-19
山口建設ビル3階
☎ 083-922-8646

■ホームページでも技能検定のご案内をしています。
URL <https://y-syokunou.com/>

- 受検申込期間 4月7日(月)～4月18日(金)まで
- 受検案内(受検申請書)は当協会、市町労働担当課、職業安定所等に用意しています。
- 検定実施職種

園芸装飾/造園/機械加工/鉄工/建築板金/工場板金/仕上げ/ダイカスト/電子機器組立て/電気機器組立て/建設機械整備/婦人子供服製造/家具製作/建具製作/印刷/石材施工/とび/左官/タイル張り/畳製作/防水施工/内装仕上げ施工/熱絶縁施工/サッシ施工/表装/塗装/フラワー装飾/路面標示施工/産業洗浄 等

◎印は技能五輪山口県予選大会職種

(平成14(2002)年1月1日以降に生まれた者が予選大会に出場できます。)

求人企業等リンクサイト「ジョブサーチやまぐち」掲載事業者募集中!

本会では、中小企業等の人材確保を支援するとともに、求職者の県内就職を促進することを目的として、県内中小企業等の求人情報をまとめた求人企業等リンクサイト「ジョブサーチやまぐち」を運営しています。

採用ホームページまたは企業ホームページに直接求職者がアクセスします。



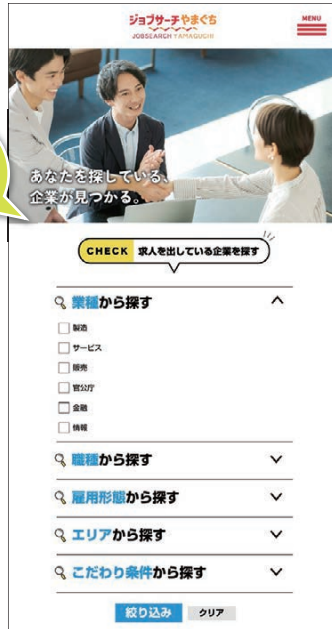
↑掲載申込



↑ジョブサーチやまぐち

申込み: <https://ws.formzu.net/dist/S434058602/>
サイト: <https://jobsearch-y.jp/>

サイト
トップ
画面



検索後
の画面



掲載費用
無料!

〈お問合せ先〉

山口県中小企業団体中央会
総務企画部 後・水野
TEL:083-922-2606
Mail:ushiro@axis.or.jp

山口県中小企業団体中央会

第70回 通常総会のご案内

日時: 2025年6月19日(木)
13:30~15:00 (予定)

場所: 「かめ福オンプレイス」
山口市湯田温泉4-5 ☎083-922-7000

会員の皆様のご出席をお待ちしております。

お問い合わせ先: 山口県中小企業団体中央会
総務企画部 (担当: 水野・山本)
☎083-922-2606